

Camponotus maculatus

(Fabricius, 1782)

アフリカにすむ成長の速いオオアリで、頭が大きく、胸部は黄色みを帯び、ガスターには斑点があり、冬の休息を必要としません。



写真： Jonghyun Park, CC BY 4.0

ひと目でわかる情報



巣の温度
24–28 °C
巣の中



巣の湿度
50–70 %
巣の中



休眠
不要



結婚飛行
まだデータがありません



働きアリ
6–10 mm
大型働きアリは最大16 mm



女王
15–18 mm
女王は1匹



コロニーの規模
働きアリ5,000匹規模
成長速度：とても速い



脱走リスク
中程度
アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう

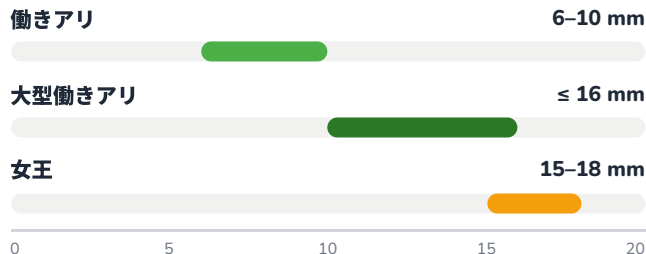
1年をひと目で

活動期



この種の実産地での月です。正確な日は天気で決まり、室内で飼育しているコロニーは別のリズムになることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- アクリル製の巣
- 自然再現型のセットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ✓ 休眠の管理が不要です
- ⚠ 好奇心が強い働きアリなので、アウトワールドに脱走防止の対策をしましょう
- ⚠ 一年中、一定の暖かさが必要です
- ⚠ 成長がとても速く、たんぱく質と広いスペースがたくさん必要です

飼育者からのメモ

ヒント

巣は一部だけを温め、ヒートマットはガラスに当てるのではなく、巣の下に一部がかかるように置きましょう。ある飼育者のセットアップでは、片側に置いたヒートマットをコロニー全体が避けていましたが、巣の下に一部がかかるよう動かしたところ、ブルードが暖かい場所の上に落ち着きました。ガラスの前面に熱が強く当たると、コロニーの一部が巣から追い出されたように見えました。

注意

次の巣は早めに計画し、アウトワールドはしっかり密閉しましょう。コロニーは驚くほど速く巣が手狭になることがあり、働きアリは登るのが上手で、新しい巣をつなぐときには脱走が起これ飼育者は見込んでいます。ぴったり閉まる蓋と、Fluonやオイルのラインのような滑りやすいバリアを使いましょう。